



## 特集 新感覚で読む - 新美南吉

新美南吉の作品は、幾く世代にもわたって読み継がれている。  
今年、新美南吉生誕100年、没後70年という節目の年を迎えた。

教科書では、「ごんぎつね」が定番（共通）教材として取り上げられ、南吉の作品は、今も全国の子どもたちに読み継がれている。

また、『手袋を買いに』、『でんでんむしのかなしみ』、『花のき村と盗人たち』を初め、多くの作品を、子どもたちは手にして読んでいる。

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でつながる現代の子どもたちは、南吉作品をどのように読んでいるのだろうか。

また、今日、南吉の紡いだ世界を私たちが読むとしたら、どう読むのだろうか。

※引用は『校定 新美南吉全集』（大日本図書）に拠る。

